

一四〇六番

秋津野あきうのに 朝居あさゐる雲くもの 失うせ行ゆけば 昨きのふ日も今けふ日  
も なき人ひとおも思おもほゆ

一四〇七番

こもりくの 泊瀬はつせの山やまに 霞かすみた立ち たなびく雲くもは  
妹いもにかもあらむ

一四〇八番

狂言たはことか およづれ言ことか こもりくの 泊瀬はつせの山やまに  
廬いほりせりといふ

一四〇九番

秋山あきやまの 黄葉もみちあはれと うらぶれて 入いりにし妹いも  
は 待まてど来きまさず